

# 山梨県社会資本整備重点計画（第4次）

## 成果資料

令和2年3月に策定した山梨県社会資本整備重点計画（第4次）は、  
中間評価を迎えました。

そこで、その実績や成果をわかりやすくまとめました。

令和5年9月



指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標1:リニア駅からの30分到達圏人口カバー率	—	—	72.7%

■主な整備効果 (令和4年度末)

- 中部横断自動車道 山梨・静岡間が令和3年8月に全線開通
- 新山梨環状道路<東部区間Ⅰ期>が令和4年11月に供用を開始、<北部区間(広瀬～桜井)>で令和4年12月用地買収開始
- 東富士五湖道路 富士吉田忍野スマートICが令和4年7月開通
- 到達エリア拡大に資する新山梨環状道路(東部区間Ⅱ期)、(仮称)甲府中央SIC事業等についても、リニア開業までの供用開始を目指し事業を進めている



▲新山梨環状道路<東部区間Ⅰ期>



▲中部横断自動車道(身延山IC)  
画像提供:国土交通省

■リニア駅から30分以内にアクセスできる圏域



▲新山梨環状道路<北部区間(広瀬～桜井)>用地幅杭打ち式(R4.12)

▲新たな御坂トンネル事業化  
出典:山梨日日新聞

▲富士吉田忍野スマートIC

■令和9年度の姿  
新山梨環状道路(東部Ⅱ期)、(仮称)甲府中央スマートICが整備され、リニア駅からの30分到達圏が更に拡大します。

■最終的な姿  
新山梨環状道路や新たな御坂トンネル等を整備し、物流の効率化や拠点間の交流促進に資する道路ネットワークの機能が強化されます。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標2: 鎌田川の整備率		90%	95%

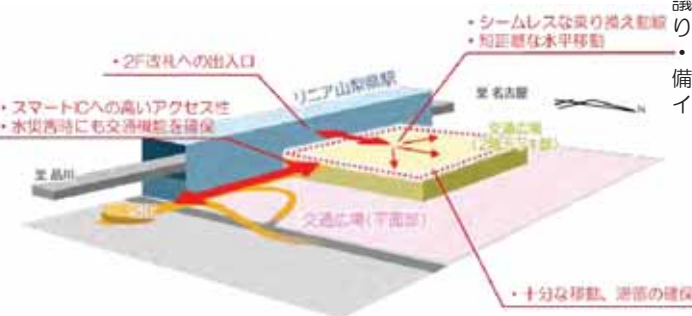
■主な整備効果 (令和4年度末)

交通結節機能やスマートICの整備

リニア駅周辺整備のイメージ



○交通結節機能の整備の具体化



- ・令和2年度の「リニア駅前エリア整備の在り方検討会議」を経て、令和3年3月に「リニア駅前エリア整備の在り方(整備方針)」がとりまとめられた。
- ・令和4年度に整備方針を踏まえ、「リニア駅前エリア整備検討会議」を行い、交通結節機能の整備について施設レイアウト等を具体化



リニア駅前エリア整備検討会議

○(仮称)甲府スマートICの整備

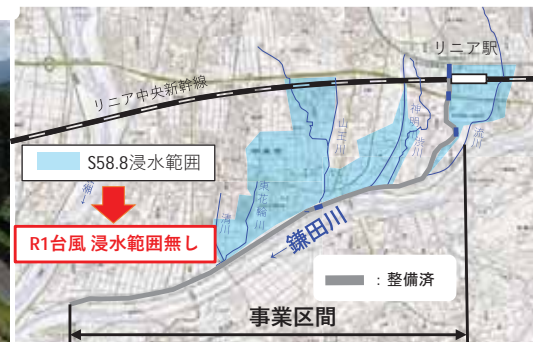
- ・整備に向け、国や市、中日本高速道路(株)、地元等との密な協議・調整を実施し、令和5年1月より用地買収を開始

鎌田川の改修

改修前



改修後



【下流から順次整備を進めてきたことによる効果の発現】

浸水被害20棟  
(S58豪雨  
: 192mm/24h)

↓  
浸水被害 0棟  
(R1台風  
: 232mm/24h)

■令和9年度の姿

リニア開業にあわせ交通広場や駐車場、(仮称)甲府中央スマートICの整備が進められ、リニア駅と県内各地との交通結節機能が確保され30分到達圏がさらに拡大しています。また、鎌田川の改修が完了し、計画洪水に対する浸水被害が解消され、防災効果が発揮されます。

■最終的な姿

リニア駅周辺の社会基盤が整備され、本県の新たな玄関口として機能し、三大都市圏へのアクセスが飛躍的に向上します。



■主な整備効果（令和4年度末）

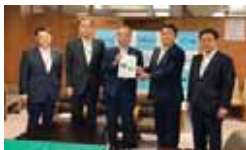
山梨県の広域道路ネットワーク図

中部横断自動車道  
（長坂～八千穂間）

環境影響評価・都市計画の手続き中

早期事業化を求め  
要望活動等を実施

沿線地域の  
活動が活発化



- ・山梨・長野両県知事が沿線首長からなる懇話会と国へ要望(R4.7)
- ・北杜市中部横断自動車道建設促進期成同盟会設立(R4.5)

中部横断自動車道  
（静岡～山梨間）

令和3年8月 全線開通



開通効果を広くPR



開通効果をPRし、  
残る長坂～八千穂間の  
早期整備に向けた  
機運醸成を図る

- ・全4回のリレーシンポジウム開催(R4.12)



本県にとって重要な  
高速道路ネットワークの整備が  
着実に前進

中央自動車道  
（小仏トンネル付近）

⇒付加車線設置による  
渋滞対策事業を実施中

事業中箇所  
の工事進捗

促進大会や  
要望等の実施



- ・R4年4月に掘削を開始した新小仏トンネル(仮称)施工中
- ・中央道渋滞対策促進協議会(R4.10)

富士吉田忍野  
スマートIC

令和4年7月 供用



国道138号  
（須走道路・御殿場バイパス）

令和3年4月 開通



■令和9年度の姿

中部横断自動車道の長坂～八千穂間は事業化され、中央自動車道上野原IC以東は渋滞対策が進捗しています。

■最終的な姿

本県に係る高速道路ネットワーク等が確立され、他圏域との連携が強化されています。

指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標3: 広域道路ネットワークに資する路線の整備延長	17.7km	18.2km	43.0km

■主な整備効果(令和4年度末)

○国道300号(中之倉バイパス)や(主)富士川身延線(井出Ⅰ期)等、18.2kmの供用を開始し、県内拠点間の連携を強化するとともに、利便性やアクセス性が向上した



▲国道300号(中之倉バイパス)



▲(主)富士川身延線(井出Ⅰ期)



▲(主)富士川身延線(身延山ⅠCアクセス)



▲新山梨環状道路(東部Ⅰ期)



▲国道411号(上萩原Ⅲ期バイパス)



▲(主)韮崎南アルプス中央線(旭有野バイパス)

■令和9年度の姿

新山梨環状道路(東部Ⅱ期)等が整備されることで県内拠点間の連携が強化され、利便性およびアクセス性が向上します。

■最終的な姿

新山梨環状道路(北部区間)等が整備されることで、利便性およびアクセス性がさらに向上します。



指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標4:街路整備率	27%	28%	100%

■主な整備効果 (令和4年度末)

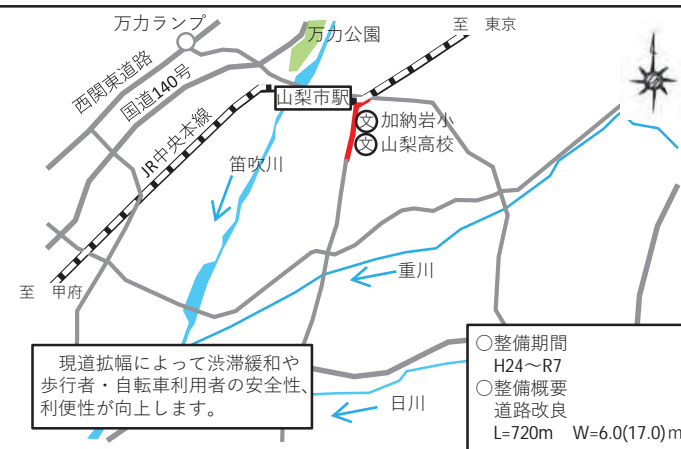
(都) 山梨市駅南線 整備事業



事業着手前の写真



現在の状況写真



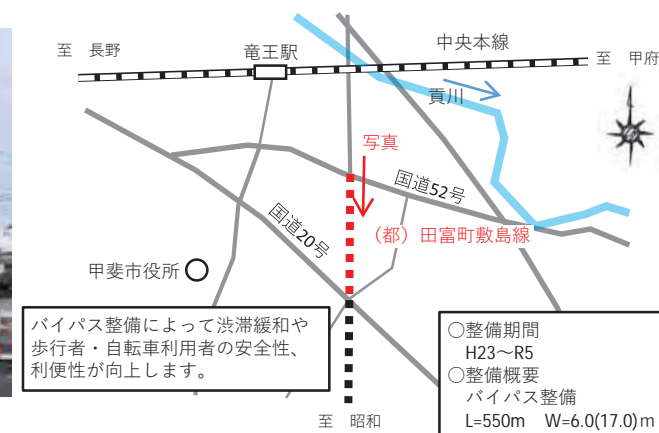
(都) 田富町敷島線 整備事業



事業着手前の写真



現在の状況写真



■令和9年度の姿

5.7kmの街路整備が完了し、市街地内の渋滞緩和や歩行者・自転車利用者の安全性・利便性が向上します。

■最終的な姿

市街地内で街路の整備が進み、渋滞緩和や歩行者・自転車利用者の安全性・利便性が向上し、市街地交通の円滑化が図られます。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標5: 主要渋滞箇所の対策箇所数	35箇所	35箇所	56箇所

■主な整備効果 (令和4年度末)

○新山梨環状道路(東部I期)の開通により、主要渋滞箇所4箇所で渋滞が解消された

■ 笹南中北1交差点

● 渋滞長の変化(国道140号)



新山梨環状道路(東部I期)開通 (R4.11)



■令和9年度の姿  
新山梨環状道路(東部区間)が整備され、甲府市内をはじめとする主要渋滞箇所の対策が進んでいます。

■最終的な姿  
県内の全主要渋滞箇所245箇所で渋滞が解消され、円滑で安全な道路交通環境が確保されています。



■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標6:観光周遊に資する路線の整備箇所数		16箇所	13箇所

■主な整備効果 (令和4年度末)

○国道411号(上萩原Ⅲ期バイパス)や(主)甲斐早川線(古屋敷橋)等、県内全域の主要観光地をつなぐ観光周遊ルートとなる道路を16箇所整備し、各観光地への誘客が図られた



▲(主)甲斐早川線(古屋敷橋)



▲(一)富士吉田西桂線(上暮地バイパス)

■観光周遊ルート



▲国道139号(小菅橋)



▲国道411号(勝沼拡幅)

■令和9年度の姿  
観光周遊ネットワーク道路における事業箇所30箇所の整備が完了します。

■最終的な姿  
全ての観光周遊ネットワーク道路の整備が完了し、県内全域の主要観光地を円滑に周遊できる道路ネットワークが形成されています。

指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標7: 自転車活用の推進を図る地域部会の設置エリア数	9エリア/9エリア	9エリア/9エリア	—

■主な整備効果 (令和4年度末)

- 令和4年度までに、**県内9エリア全てで地域部会の設置が完了**
- 内**6つのエリアでモデルルート**の設定が完了し、モデルルート上には 自転車走行空間 (矢羽根・ピクトグラム) 整備を実施



▲サイクル王国やまなし ロゴマーク



▲県内エリアとモデルルートの策定状況



▲地域部会の様子



▲モデルルートにおける自転車走行空間整備 (甲府市武田地内)



▲サイクルマップの作成



▲矢羽根型路面表示の通行状況



出典：山梨日日新聞

- 設定したモデルルートを紹介するサイクルマップを作成し、モデルルートを活用した観光周遊ルートが形成された
- 残る3エリアでモデルルートを設定し、順次サイクルマップの作成と走行空間整備を実施

■令和9年度の姿  
自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現します。

■最終的な姿  
誰もが安全で快適に自転車を活用することができる自転車利用環境が整備され、自転車の活用が推進されています。



■主な整備効果（令和4年度末）

ポータルサイト及びInstagramの運営

- ポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」に、令和4年度末までに63施設を掲載
- アクセス数は、他の施策（Instagram、インフラカード）の効果もあって概ね増加傾向
- 令和3年3月、Instagram「県土やまなし未来づくり」を開設
- 普段見ることができない建設現場の様子や、イベント情報、建設会社等の投稿紹介などを投稿
- フォロワーは令和4年度末時点で1,300フォロワー獲得



<ポータルサイトトップページ>



<インスタトップページ>



<インスタ投稿例>



<インスタキャンペーン>

ガイドマップ等の作成

- 「富士の国やまなしインフラガイド」を作成し、令和4年度末までに9,100部を配布済み
- 掲載施設を大幅に増やした刷新版を作成予定
- 県内インフラ27施設の「インフラカード」を作成し配布を開始（令和4年9月）
- 県管理事務所や市町村管理観光施設等の約30施設で配布し、地域活性化へ寄与することを期待



<富士の国やまなしインフラガイド（抜粋）>



<インフラカード（抜粋）>

インフラツーリズムの実施

- 対象施設を「大門ダム」「琴川ダム」に決定
- 民間旅行会社によるツアー企画の募集開始（令和4年7月）
- 令和4年11月「大門ダム 圧倒のダム見学とドローン飛行会」ツアーの受け入れ
- ツアー企画の募集PR活動の継続及び、対象施設の追加を検討中



<監査廊の見学>



<ダム湖周辺でのドローン飛行>



<ダム堤体下でのドローン飛行>

■令和9年度の姿

インフラツーリズムが毎年開催され、SNSやウェブサイトのフォロワー数が増加し、本事業の取り組みが浸透しています。

■最終的な姿

インフラの価値や魅力の情報発信がSNS等で活発に行われ、インフラツーリズム等により観光資源としての活用が進んでいます。



■主な整備効果（令和4年度末）

甲府城周辺地域の整備について



公園利用状況（暫定整備）

甲府周辺地域活性化実施計画に基づき、史跡甲府城跡保存活用計画及び整備基本計画と整合を図りながら、魅力向上につながる甲府城南側エリアの整備を進めている。

区画整理事業・市街地整備事業について



甲府駅周辺地区  
土地区画整理事業

密集市街地の区画整理を行うことにより、快適な市街地環境が整備される。また、ガードの改築をすることにより、歩車道の分離や緊急車両の通行が可能になり、快適で災害に強いまちがつけられる。



横沢通り

市街地交通の円滑化について

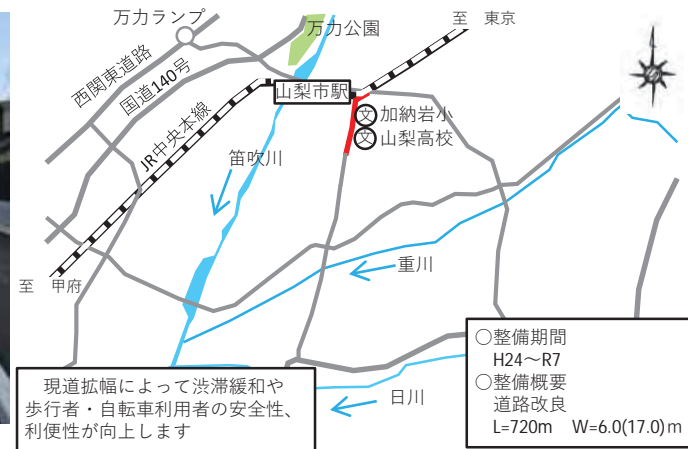
(都) 山梨市駅南線 整備事業



事業着手前の写真



現在の状況写真



■令和9年度の姿

5.7kmの街路整備が完了し、市街地内の渋滞緩和や歩行者・自転車利用者の安全性・利便性が向上します。また、甲府城南側エリアの整備と区画整理事業・市街地整備事業を行っています。

■最終的な姿

市街地内で街路の整備が進み、渋滞緩和や歩行者・自転車利用者の安全性・利便性が向上し、市街地交通の円滑化が図られます。また、甲府城南側エリアの整備や土地区画整理事業により快適な市街地環境が創出されます。

指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標8:効率的な森林施業に資する林内路網の整備延長	4,778km	4,783km	5,003km

■主な整備効果(令和4年度末)

<山梨県林内路網整備計画>

■計画の趣旨

県産材を安定的に低コストで搬出するとともに、主伐後の確実な再生林を確保し、森林資源の循環利用を促進するため、林地の傾斜区分や導入する作業システム(※)に応じて、骨格となる林道とこれを補完する林業専用道や森林作業道を適切に組み合わせた路網の配置を計画的に推進することを目的とする。

■計画期間

令和2年度から令和11年度までの10年間

■整備目標値

計画期間における林道及び森林作業道の整備延長: 450km/10年

※ 伐採から運搬までの一連の作業工程において、人力と林業機械を現場条件に応じ適切に組み合わせた森林施業の体系

<路網ネットワークの形成>

効率的な森林施業のための林内路網のイメージ

林道:

森林施業の実施や、木材の搬出に必要な路網の骨格となる道



林業専用道:

林道を補完する10トン積トラック等の走行を想定した専ら森林施業に利用する道



森林作業道:

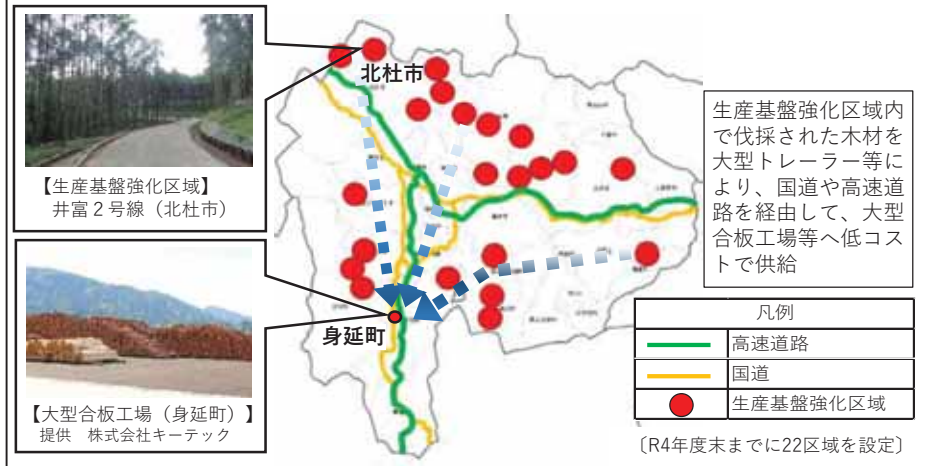
林業機械(2トン積程度の小型トラックを含む)による施業に供する小規模で簡易な構造の道



路網の種類とその役割に応じた適切な配置により、林内での作業システムの高効率化を実現

<林内路網の重点的な整備>

人工林資源が充実した区域を生産基盤強化区域に設定し、林内路網を重点的に整備



<林内路網の整備状況及びその効果>

林内路網の骨格となる林道については、3年間で7路線が完了し13路線を新たに事業化

■整備効果(効率的な森林施業の実施)

【3年間(R2~R4)の実績】

整備延長(4,645km→4,783km)

林内路網密度(13.5m/ha→14.0m/ha)

整備箇所: 井富生産基盤強化区域(北杜市)



■令和9年度の姿

人工林資源が充実した区域における路網の重点的な整備により、高性能林業機械を用いた効率的な作業システムの導入が図られ、県産木材が安定的に搬出されています。

■最終的な姿

林内路網の適切な整備の結果、県産木材が安定的に低コストで搬出されるとともに、主伐後の再生林や荒廃森林における間伐等、森林資源の循環利用が促進され、県下全域に多様な林齢や樹種からなる健全な森林が広がり、森林の公益的機能が持続的に発揮されています。



指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標9: 果樹産地等における基盤整備面積	4,700ha	4,702ha	5,200ha

■ 主な整備効果 (令和4年度末)

**果樹産地等における基盤整備**

果樹産地等において、地域のニーズに対応した区画整理等の基盤整備を令和2~4年度に302ha実施し、農作業の効率化・省力化等が図られている。

産地の競争力強化に向け、多様な担い手への農地集積・集約化を加速化させるため、畑地の基盤整備の推進が必要



狭小で不整形なほ場



急峻地形のほ場



W=1.8m  
未舗装で幅員が狭い農道



断面不足の水路

基盤整備により農作業の効率化・省力化等が図られるとともに、多様な担い手への農地の集積・集約化を促進



大区画化し整形されたほ場

区画の拡大や勾配の緩和により生産性が向上し、生産コストの削減に繋がっている



緩傾斜化されたほ場

多様な担い手への農地集積・集約化が促進されている



W=4.0m

・車両の安全かつスムーズな走行が可能  
・舗装により農産物の高品質化に繋がっている



用排水路

・排水不良が解消され農産物の品質が向上  
・農地の浸食が防止され維持管理労力が軽減

■ 令和9年度の姿

区画整理等の基盤整備を計画的に進めることで、農作業の効率化・省力化等が図られるとともに、多様な担い手への農地の集積・集約化が一層促進されるなど果樹産地等の農業経営の安定化に繋がっています。

■ 最終的な姿

県内各地の果樹産地等における営農条件が改善されることで、県産農産物の高品質化や生産性の向上による産地の競争力が強化され生産者の所得の向上に繋がっています。



■指標の目標と実績

指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標10:河川整備計画における河川の整備率	61%	62%	71%

■主な整備効果 (令和4年度末)

平等川改修事業

改修前

改修後

改修イメージ

— 改修前断面

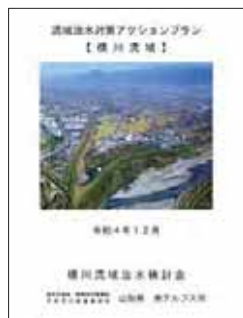
- - - 改修後断面

H.W.L.

**流下能力が大幅に向上!**

流域治水の取り組み

想定を遥かに上回る豪雨災害に対して、流域のあらゆる関係者(行政、企業、住民)が協働し、「流域治水」に取り組むことが重要。そうした中、横川流域の地域特性を踏まえたアクションプランが完成。関係者により取り組みを実践中。



ワーキンググループ状況



■令和9年度の姿

県内全域において近年大きな浸水被害があった河川の改修がおおむね完了し、浸水被害が解消されています。

■最終的な姿

計画規模程度の降雨における安全が確保され、氾濫が防止されています。

指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標11: 砂防施設の整備により土砂災害から守られている人家戸数	900戸	957戸	1700戸

■主な整備効果（令和4年度末） ハード対策（被害軽減）とともに、ソフト対策（避難誘導）で人的被害を小さくする

不動沢（甲府市塚原町 R2完成） 砂防事業



土砂災害警戒情報システムリニューアル  
わかりやすい表示で迅速な避難につなげる

沢戸（都留市井倉沢戸 R4完成） 急傾斜地崩壊対策事業



■令和9年度の姿  
砂防施設の整備により土砂災害から守られている人家戸数が1,700戸増加。

■最終的な姿  
砂防施設の整備により、施設整備可能な土砂災害警戒区域にある全ての人家が保全され、住民生活の安全安心が確保されています。



指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標12: 山地災害危険地区の新規対策地区数	2,384地区	2,385地区	2,462地区

■ 主な整備効果（令和4年度末）

□ 治山施設の整備

○ 山地災害危険地区の新規対策地区において、治山施設の整備を行い山地災害に対する防災・減災対策を推進

◇ 治山施設の整備事例（谷止工）



◇ 治山施設の整備事例（山腹工）



治山施設の整備内容	整備量（R2～R4）
溪間工（谷止工、床固工、流路工など）	284基
山腹工（山腹工、落石防止工、地すべり防止工など）	63箇所
上記のうち山地災害危険地区の新規対策地区数	47地区

□ 山地災害の防止に向けた取組

○ 山地災害危険地区のパトロール  
県と関係市町村が協力し、山地災害防止パトロールを実施



○ 山地災害危険地区の啓発等  
ポスターの掲示、パンフレットの配布、懸垂幕の設置等による広報活動やインターネットによる山地災害危険地区の位置情報の周知



■ 令和9年度の姿

山地災害危険地区の7割（2,462地区）において、治山施設の整備が着手されており、防災・減災対策が着実に進んでいます。

■ 最終的な姿

全ての山地災害危険地区（3,489地区）において、治山施設の整備が着手済みとなり、山地災害に対する防災・減災対策が図られています。

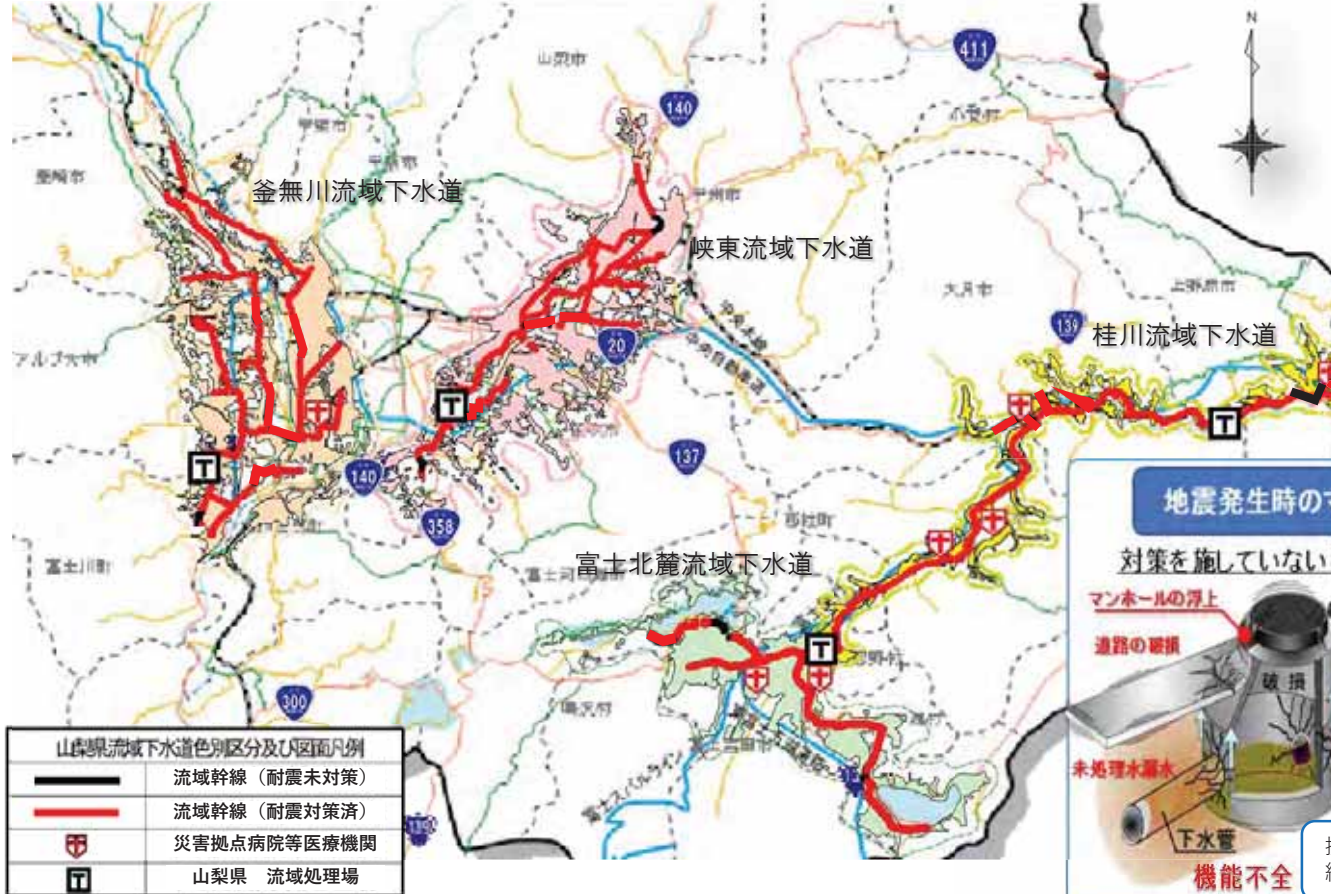


■指標の目標と実績

指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標14:下水道管路施設の耐震化率	89%	94%	100%

■主な整備効果（令和4年度末）

《流域下水道幹線管路図》



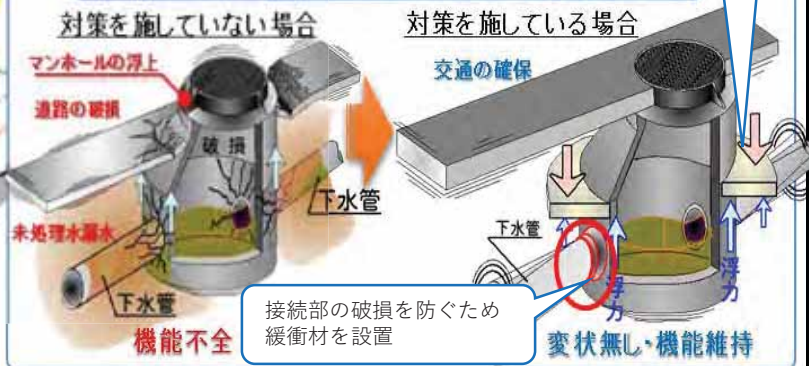
■切迫する大規模地震発生に備えた耐震機能補強済みの箇所（令和4年度末）

- 管渠耐震化済延長  
《管とマンホール接続部可とう化》  
L=208.7km（全長L=222.1km）
- マンホール浮上防止対策済箇所  
N=3,078箇所（全箇所N=3,079）



液状化現象によるマンホールの浮上を防ぐため、リング状の浮上防止装置を設置

地震発生時のマンホールと下水道管路のイメージ図



■令和9年度の姿

耐震化により地震発生後の下水道管路施設の健全性の確保により、震災時の道路機能の確保、公衆衛生が向上し快適な避難生活とその短縮化が図られています。

■最終的な姿

耐震化により地震発生後の下水道管路施設の健全性の確保により、震災時の道路機能の確保、公衆衛生が向上し快適な避難生活とその短縮化が図られています。

■主な整備効果（令和4年度末）

- 富士山火山噴火時に活用される避難想定ルート上の道路整備を推進し、緊急時の避難機能が向上している
- 砂防施設の整備を推進し、噴火時における生命・財産への被害が軽減されている



▲国道358号（右左口登坂）

■富士山噴火避難・道路ネットワーク イメージ図



▲（主）笛吹市川三郷線（竹居工区）



▲国道300号（中之倉バイパス）



施工箇所

▲遊砂地工等の整備



▲国道138号（新屋拡幅）

■令和9年度の姿

災害に強い道路網整備、除灰体制の構築、砂防施設のソフト・ハード両面からの防災減災対策が進み、富士山火山防災が推進されています。

■最終的な姿

富士山火山防災が推進され、生命・財産の保護が図られています。



■指標の目標と実績

指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標13: 緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率	53%	53%	100%

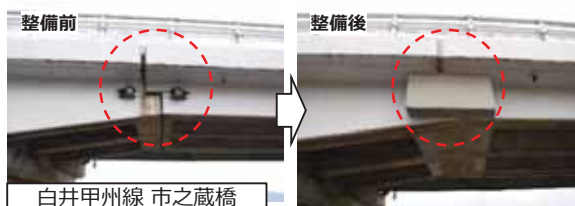
■主な整備効果（令和4年度末）

災害に強い道路ネットワークの構築に向けた道路橋の耐震対策の推進

道路橋の耐震補強

【緊急輸送道路の橋梁及び  
跨線橋・跨道橋の耐震対策】

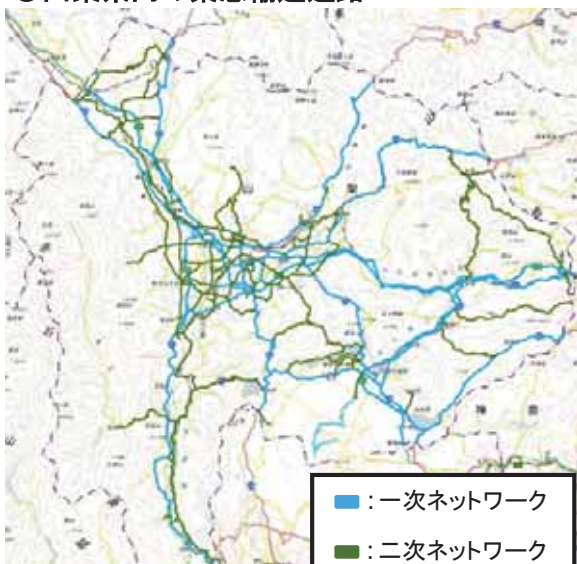
○ゲルバーヒンジの連続化



○落橋防止装置の設置

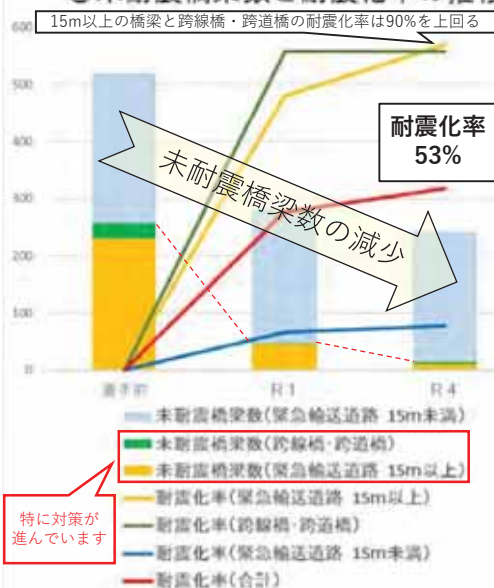


○山梨県内の緊急輸送道路



※国土交通省HP 道路防災情報Webマップより抜粋

○未耐震橋梁数と耐震化率の推移



○V脚の当て板補強+粘性ダンパーの設置



橋長360mの長大橋の補強が約60%まで進捗

■令和9年度の姿

緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋のうち耐震化が必要な橋梁の、約100%が耐震化されています。

■最終的な姿

今後想定される南海トラフ地震等の大規模自然災害発生後にも道路の安全性が確保され、災害に強い道路ネットワークが構築されています。



■ 主な事業効果（令和4年度末）

**住宅の耐震化**

□ **取り組み内容**

木造住宅の耐震化を促進し、県民の安全確保や地震後の復旧等の軽減化を図ることを目的として、耐震化の促進のための啓発や財政支援を実施。

□ **補助実績（R2～R4）**

耐震診断	629件	(H15～累計10,733件)
耐震設計	89件	(H24～累計 390件)
耐震改修・建替	94件	(H17～累計 771件)

□ **普及啓発の取り組み**

- ・ 県、市町村、民間建築関係団体で構成する連絡会、WGを開催
- ・ 戸別訪問、DMにより耐震化の必要性や補助制度について周知
- ・ 民間事業者と協力しリフォーム工事を行う者に耐震化工事を紹介
- ・ 防災出張講座の開催

**避難路沿道建築物の耐震化**

□ **取り組み内容**

緊急輸送道路等の沿道建築物の耐震化を促進し、建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、住民の避難路や緊急車両の通行を確保することを目的として、沿道建築物の耐震化のための啓発や財政支援を実施。

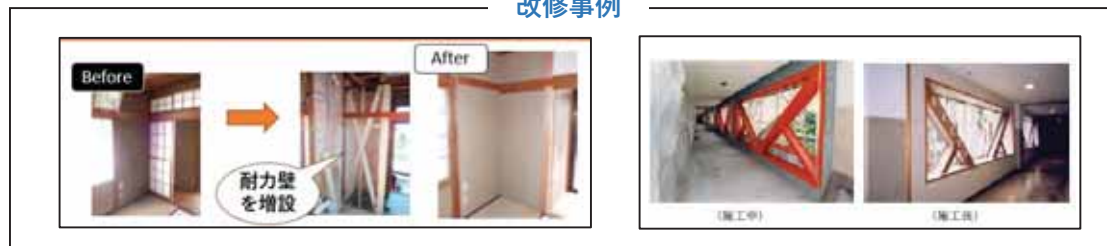
□ **補助実績（R2～R4）**

耐震診断	98件	累計313件	(H27～)
耐震設計	11件	累計 31件	(H28～)
耐震改修等	37件	累計 75件	(H28～)

□ **普及啓発の取り組み**

- ・ 耐震性のない建物所有者に対し、戸別訪問、DMにより耐震化の必要性や補助制度について周知

改修事例



耐震化の周知



低コスト工法研修会



建築物防災出張講座



■ 令和9年度の姿

住宅・建築物の耐震性が不足するものの解消が進み、大規模地震時の倒壊被害が着実に軽減されています。

■ 最終的な姿

住宅・建築物の耐震性が不足するものを概ね解消しており、大規模地震時の倒壊被害が最小限に抑えられています。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標15: 森林整備の実施面積	6,400ha/年	6,625ha/年	7,042ha/年

■主な整備効果 (令和4年度末)

<造林補助事業>

林業に適した森林では、国庫補助事業等を活用し、主伐後の再生林を確実にを行うとともに、自然災害に強い森林を育てるため、間伐等の森林整備を実施

【適切な森林管理】



<保安林整備事業>

水源のかん養や山地災害の防止等の保安林としての機能が低下した森林の改良・保育を実施

[R4実施面積:275ha]

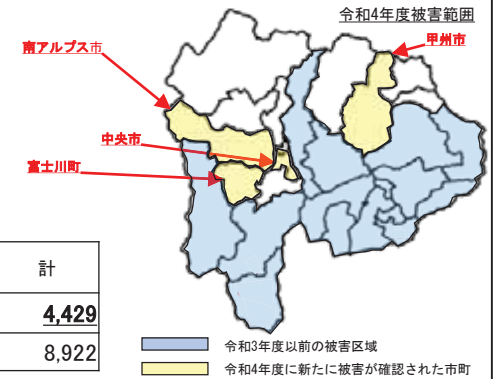
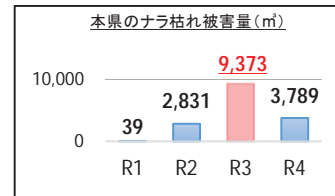


<森林病虫害防除事業>

松くい虫や近年急増したナラ枯れ被害について、森林資源の損失や公益的機能の低下、被害木による倒木災害等を防止するため、伐倒駆除等の防除対策を実施

○ナラ枯れ被害

本県では令和元年に身延町、南部町、山中湖村において初めて被害が確認され、徹底した被害木の伐倒駆除や防除対策により令和4年度には被害量は減少に転じたものの、依然として被害範囲は拡大



R4実施(保全)面積等

面積・対策	松くい虫被害対策	ナラ枯れ被害対策	計
保全面積(ha)	2,727	1,702	4,429
駆除材積(m³)	5,133	3,789	8,922

■3年間の森林整備面積(R2~R4)

実施面積(ha)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計
	6,174	6,345	6,625	

<森林環境税事業>

森林所有者による手入れが行き届かず荒廃した森林の健全化に向け、「県森林環境税」を財源として間伐等の森林整備を実施

○荒廃森林再生事業

荒廃した人工林を間伐し、針広混交林に誘導

[R4実施面積:422ha]



○里山再生事業

長期間放置されヤブ化した里山林を整理伐により再生

[R4実施面積:24ha]



○広葉樹の森づくり推進事業

伐採後、天然更新により森林に回復していない林地に広葉樹を植栽

[R4実施面積:7ha]



■令和9年度の姿

森林病虫害の防除対策や過密化し荒廃した森林の整備が計画的に実施され、自然災害の防止や水源のかん養など、森林の公益的機能の維持・増進が図られています。

■最終的な姿

主伐後の再生林や荒廃した森林における間伐など、適切な森林の整備・保全により、県下全域に多様な林齢や樹種からなる健全な森林が広がり、森林の公益的機能が持続的に発揮されています。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標16:防災重点ため池の耐震対策済箇所数		53	53

■主な整備効果 (令和4年度末)

■ハード対策

大規模地震に備え耐震性を有していない

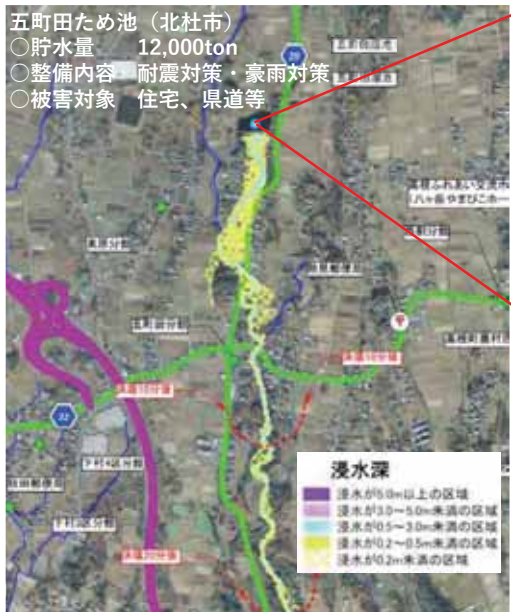
防災重点ため池の耐震・豪雨対策を実施

⇒防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法により

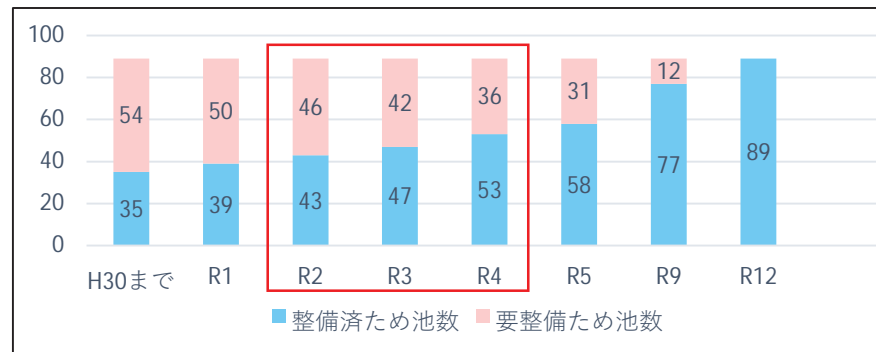
令和3年3月3日、89箇所のため池を防災重点農業用ため池に指定

⇒令和2～4年度に14箇所の整備が完了し、

農村地域の安全・安心が確保されている



◇防災重点ため池整備のロードマップ



■ソフト対策

ハザードマップの周知、緊急時の連絡体制の強化

○全ての防災重点ため池のハザードマップ作成、公表  
⇒ホームページ掲載や公民館掲示により  
地域住民への周知が図られた



◇ハザードマップの公表状況

○緊急時における体制の構築  
⇒**県** ⇄ **市町村** ⇄ **管理者** の連絡体制を整備  
⇒地震発生後におけるため池点検要領の設定

○ため池サポートセンターの設置  
⇒山梨県ため池サポートセンターの専門スタッフ  
による保全管理の技術的支援



◇管理者に対する現地研修

■令和9年度の姿

77箇所のため池の整備が完了し、下流域の保全が図られ、あわせて地域の管理体制の強化を推進することで住民の安全安心が確保されています。

■最終的な姿

県内全域にある89箇所の防災重点ため池の耐震対策、豪雨対策が完了し下流域の安全が確保されるとともに、非常時における連絡体制の強化などのソフト対策も充実し、住民の安全安心が確保されています。



■主な整備効果（令和4年度末）

○大規模災害発生時の広域的な避難や救援活動を支える幹線道路の整備を推進し、広域的な避難が可能になっている



▲（主）市川三郷富士川線（富士橋）



▲（主）韮崎増富線（江草工区）

被災時の様子



完成



▲（主）南アルプス公園線（令和元年東日本台風災害）

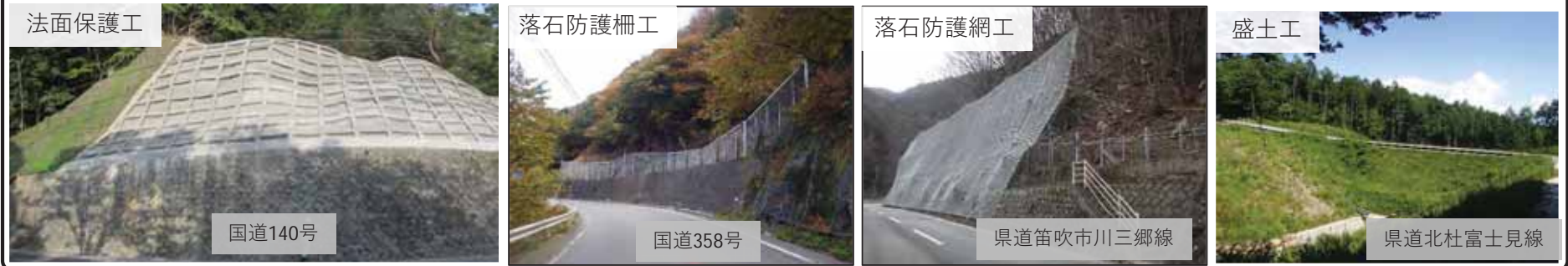
■令和9年度の姿  
大規模災害発生時の広域的な避難や救援活動を支える幹線道路の整備が推進されています。

■最終的な姿  
避難を支える道路が整備され、大規模地震等の発生時に円滑な避難が行える環境が整えられています。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標17:道路防災危険箇所の対策箇所数		47箇所	47箇所

■主な整備効果（令和4年度末）

防災対策事例



国道413号の防災対策により雨量規制を解除

国道413号 防災対策事例

 対策前	 対策前	 対策前
 対策後	 対策後	 対策後

雨量規制解除  
令和3年7月

雨量規制区間2  
延長：9km  
規制雨量：連続100mm

雨量規制区間1  
延長：9km  
規制雨量：連続130mm

（凡例）  
—：国道413号  
—：雨量規制区間  
●：対策箇所（9箇所）

■令和9年度の姿  
法面崩壊などの災害発生の危険性が高い箇所のうち緊急輸送道路や雨量規制区間内等の75箇所の対策が完了します。

■最終的な姿  
災害発生の危険性が減少し、通行の安全が確保されています。



■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標18:国、県、市町村道での電線類地中化の整備延長		152km	153km

■主な整備効果（令和4年度末）

県内の国、県、市町村道で中間目標値を上回る153kmの電線類が地中化完了し、道路の防災性の向上、歩行者空間の確保、良好な景観形成等の様々な観点からの整備が進んだところです。

景観を阻害する電柱・電線

電柱倒壊による道路閉塞

電線類地中化のイメージ

電線類地中化の例（（主）韮崎昇仙峡線）

整備前

電柱や電線類が道路沿いにあると・・・

地震や台風等により電柱が倒壊すると、災害時の避難や救急活動等に大きな障害となります。また、歩行者（車いす）の通行や、良好な景観を阻害する要因となります。

整備後

※出典：第1回無電柱化推進のあり方検討委員会資料

■令和9年度の姿  
県内の国、県、市町村道で190kmの電線類地中化が完了し、道路の防災性の向上、歩行者空間の確保、良好な景観形成等の様々な観点からの更なる効果が期待されます。

■最終的な姿  
災害時に安全・安心が確保され、また、平常時に良好な歩行空間と景観が確保されている。

■主な整備効果（令和4年度末）

○大規模災害時を想定した訓練の実施



道路啓開訓練



道路啓開訓練

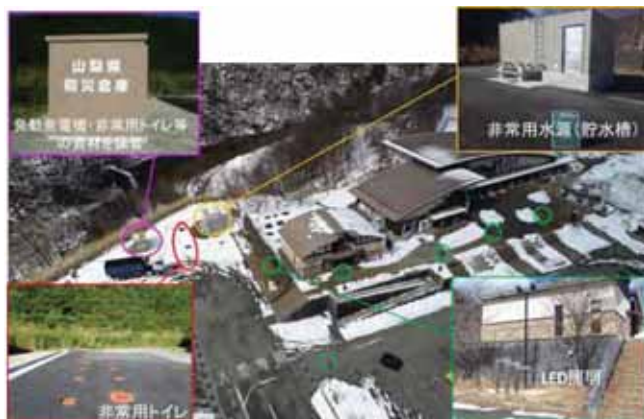


下水道施設における  
仮設沈殿池設置訓練



ドローン及びWeb会議システムを活用した情報伝達訓練

○「道の駅」の防災拠点機能の強化(道の駅みとみ)



○都市公園の防災拠点機能の強化(小瀬スポーツ公園・富士川クラフトパーク)



小瀬スポーツ公園  
広域搬送拠点臨時医療施設



富士川クラフトパーク  
太陽光パネルによるLED照明

■令和9年度の姿

防災拠点機能が確保されるとともに災害時の応急体制が強化され、大規模災害発生時に、安全・安心の場を提供する体制が構築されています。

■最終的な姿

防災拠点機能が確保されるとともに災害時の応急体制が強化され、大規模災害発生時に、安全・安心の場を提供する体制が構築されています。



■主な整備効果（令和4年度末）

水位計設置事例

危機管理型水位計を設置し、よりきめ細やかに水位情報が取得可能となり、市町村の避難情報発令や住民の自発的な避難行動につながる防災情報提供が可能となりました。



危機管理型水位計

川の水位情報



都市復興ガイドライン模擬訓練

地震等により市街地が被災した場合の被災状況の把握・分析、及び復興の手順や復興後の都市のあるべき姿を事前に検討する訓練を実施しました。



洪水ハザードマップの作成支援

県による浸水想定区域の公表と市町村への洪水ハザードマップ作成支援により、住民に身近な場所の水害リスクを周知しました。



大月市洪水ハザードマップ



また、水害リスク情報の空白地域の解消に向けて、身近な中小河川における浸水リスク評価を行うための浸水想定区域図を作成しています。（令和4年度末に130河川で新たに作成・公表）

■令和9年度の姿

継続的な模擬訓練の実施や水害リスクの情報提供により、市町村の防災力が向上しています。

■最終的な姿

全ての市町村の防災力高く、速やかな復旧・復興の体制が構築されています。

■主な整備効果（令和4年度末）

水防訓練

水防団体及び関係機関等の協力を得て、洪水時における水防体制の強化、水防技術の意識高揚を図りました。



砂防移動教室

土砂災害に対する危険性、避難行動などの重要性を周知するため、小学生を対象に砂防移動教室を行い、啓発活動を実施しました。



被災建築物・宅地危険度判定士養成

判定士活動を迅速かつ適切に実施できるように、判定士の養成講習、判定業務マニュアル等の研修を開催し、技術向上を図りました。



被災建築物応急危険度判定訓練



被災宅地危険度判定士養成講習会

土砂災害訓練

市町村が行う土砂災害訓練に合わせ、土砂災害に対する危険性、避難行動の重要性を周知し開発活動を実施しました。



■令和9年度の姿

継続的な訓練や講習会の実施により、災害対応に関する知識や技術力が向上しています。

■最終的な姿

県内全域において、水防団や判定士等の人材が確保され、災害対応力が高いレベルで維持されています。



■指標の目標と実績

指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標19: 高次医療機関への30分アクセス圏人口カバー率	—	—	70.5%

■主な整備効果 (令和4年度末)

- 中部横断自動車道 山梨・静岡間が令和3年8月に全線開通
- 到達エリア拡大に資する新山梨環状道路(東部区間Ⅰ期)が令和4年11月に供用開始し、アクセス性が向上
- 同じく到達エリア拡大に資する新山梨環状道路(東部区間Ⅱ期)、(仮称)甲府中央SIC事業についても、リニア開業までの供用開始を目指し事業を進めている

■高次医療機関から30分以内にアクセスできる圏域



▲中部横断自動車道(身延山IC)  
画像提供:国土交通省



▲中部横断道開通式(R3.8)



▲新山梨環状道路(東部区間Ⅰ期)



■令和9年度の姿

新山梨環状道路(東部Ⅱ期)、(仮称)甲府中央スマートICが整備され、高次医療機関からの30分到達圏が更に拡大しています。

■最終的な姿

新山梨環状道路や新たな御坂トンネル等を整備し、物流の効率化や拠点間の交流促進に資するネットワークの機能が強化されています。

■主な整備効果（令和4年度末）

歩道設置（（主）甲府南アルプス線 [甲斐市西八幡]）



歩道設置（国道140号[笛吹市石和町河内]）

学校、警察、道路管理者などによる合同点検を実施し、対策が必要とされた箇所について重点的に、歩道の設置による安全な通学路の整備やカラー舗装による交差点の視認性向上を図り、安全な道路環境を整備しています。



カラー舗装（国道411号 [甲州市塩山上栗生野]）

■令和9年度の姿

各地域の実情を踏まえた合同点検や対策の改善・充実等の取組を着実かつ効果的に実施し、道路環境の安全の向上が図られています。

■最終的な姿

歩行者が安全・安心に通行できる道路環境が確保されています。

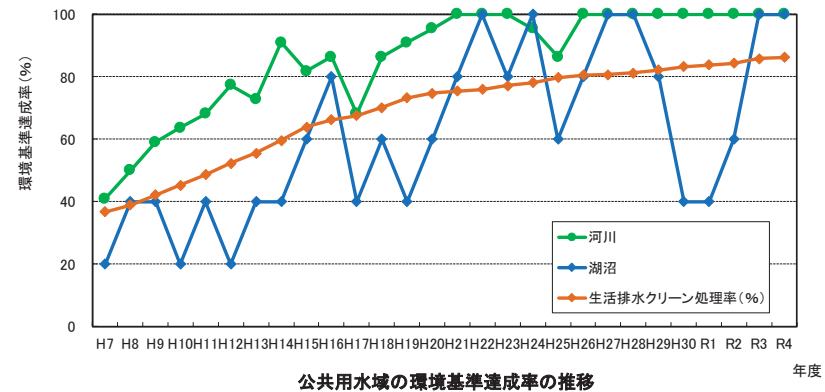
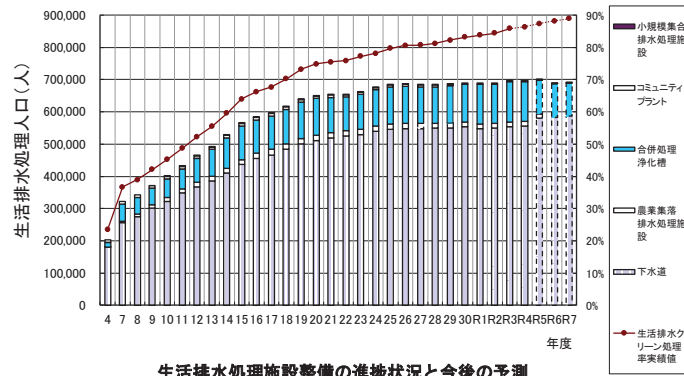


■ 指標の目標と実績

指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標20:生活排水クリーン処理率	86.5%	86.3%	90.2%

■ 主な整備効果 (令和4年度末)

- 公共用水域の水質汚濁の主原因が生活排水であるため、事業実施主体である市町村と連携し、計画的かつ効率的に生活排水処理施設の整備を推進しており、その結果、クリーン処理率は着実に上昇している。
- クリーン処理率の上昇に伴い、生活排水が排出される公共用水域の環境基準達成率も上昇しており、近年は良好な状況を維持している。



※項目は汚濁負荷の指標となるBOD(河川)、COD(湖沼)

■ 生活排水処理施設の整備により魅力的な水辺環境の保全に寄与(釣り場や環境教育の場として地域に親しまれている)



クリーン処理率  
R2年度 ▶ R4年度  
84.4%      86.3%  
**1.9ポイント上昇**

■ 令和9年度の姿

山梨県生活排水処理施設整備構想2017に基づき着実に整備が進み生活排水クリーン処理率が約90%に向上しています。

■ 最終的な姿

クリーン処理率が上昇し、未処理の生活排水が減少することで良好な水質が維持されています。

指標	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
■ 指標の目標と実績	指標21:長寿命化のために必要な補修に着手した橋梁の割合	46%	56%	100%

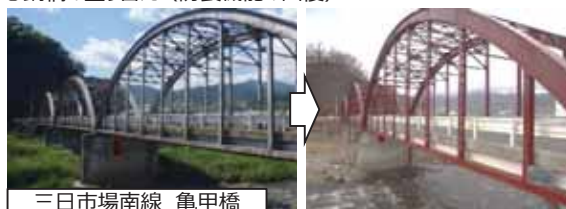
■ 主な整備効果（令和4年度末）

予防保全による長寿命化対策の推進 ～安全・安心な道路を次世代へ～

「予防保全」への本格転換

【県が管理する約2,000橋の  
道路橋の老朽化対策】

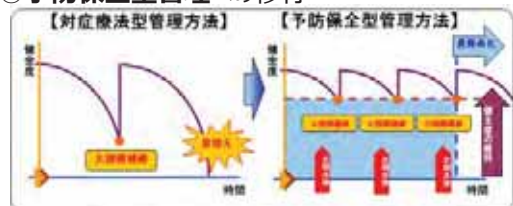
○ 鋼橋の塗り替え（防食機能の回復）



○ 橋桁を支える支承の補修・再塗装



○ 予防保全型管理への移行

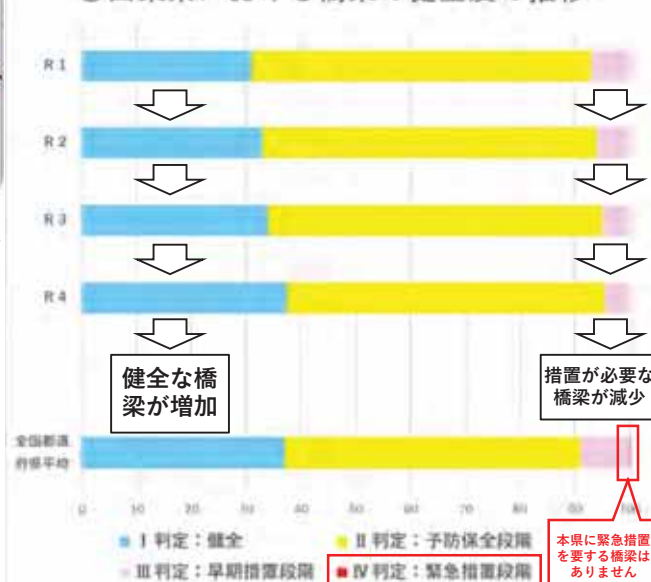


○ 点検費用縮減のため、**新技術活用**の取り組み  
・ドローン等を活用した橋梁点検を試行



ドローンによる画像取得と画像解析

○ 山梨県における橋梁の健全度の推移



○ 車両の走行を支える床版の補修



■ 令和9年度の姿

予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が100%になっています。

■ 最終的な姿

長寿命化計画に基づき橋梁等の道路施設が適切に管理され、効率的かつ持続可能な維持管理を実現する予防保全によるメンテナンスへ移行しています。



■主な整備効果（令和4年度末）

河川管理施設

治水機能を確実に発揮するために、定期的な点検により状態を把握するとともに、各施設の長寿命化計画に基づく整備更新を実施しています。

【実施例】 渋川伏越樋門除塵機

施工前

施工後



【実施例】 塩川ダム選択取水ゲート

施工前

施工後



砂防施設

長期にわたり機能及び性能を確保するため、健全度に関する点検を実施し、長寿命化計画に基づく適切な維持、修繕、改築を実施しています。

砂防堰堤

施工前

施工後

【実施例】  
日川 天目堰堤

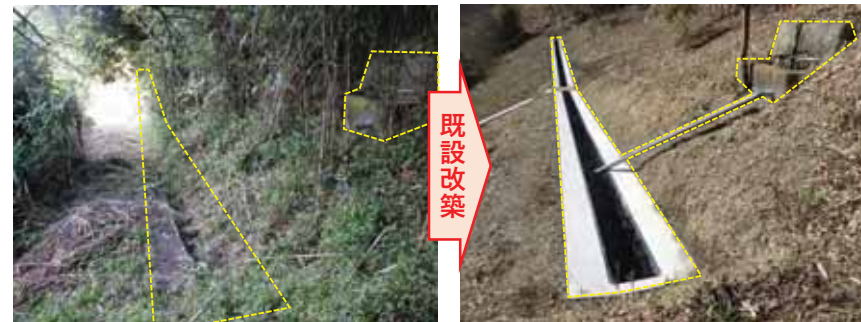


地すべり防止対策施設

施工前

施工後

【実施例】  
湯の岡・台 排水施設



■令和9年度の姿

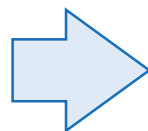
各施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改良・更新を実施することで、その機能および性能の確保が図られています。

■最終的な姿

長寿命化計画に基づく予防保全型のメンテナンスサイクルが構築され、施設を適切に管理し、災害時においても機能が確保されています。

■主な整備効果（令和4年度末）

■長寿命化計画に基づき、都市公園施設の改修や修繕が継続的・計画的に実施され、災害時に必要な一定の機能を確保するとともに、定期点検や日常点検が継続的に行われ、公園利用者の安全・安心が確保されている。



■下水道ストックマネジメント計画に基づいた適正な施設改修・更新が図られると共に、災害時においても下水道施設の健全性が確保され、ライフラインの機能が維持されている。

**管路の点検状況**

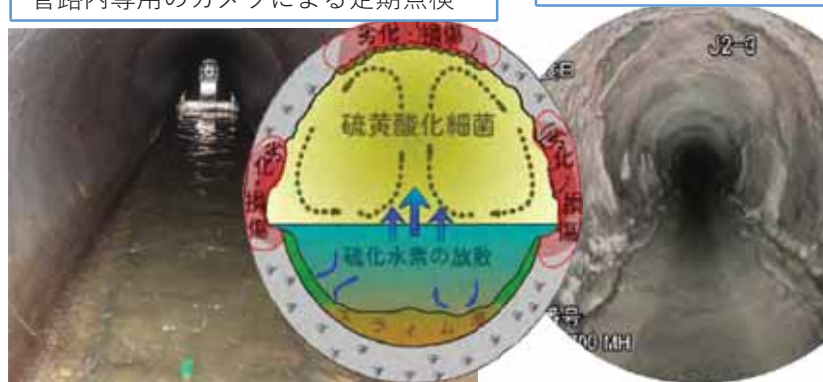
**管路の損傷状況**

**管路の更生工実施**

管路内専用のカメラによる定期点検

硫化水素等の影響で劣化し損傷している状況

繊維強化プラスチック等を巻き付ける更生工を実施



■令和9年度の姿

都市公園施設や下水道施設の持続的な機能を確保するため、施設の現状を的確に把握し、点検・調査及び適切かつ効率的な維持管理が実施され、各々の施設の長寿命化が図られています。

■最終的な姿

予防保全型管理によるメンテナンスサイクルが構築され、トータルコスト縮減、利用者の安全・安心が確保されています。



指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
指標22: 県営住宅の長寿命化住戸数	560戸	593戸	800戸

■ 主な整備効果（令和4年度末）

県営住宅 全面的改善工事

■ 老朽化した住棟を全面的にリニューアルすることで長寿命化を図ります



外壁及び屋上防水の改修による長寿命化

スロープ及びエレベーター  
設置によるバリアフリー化



住戸内の改修による快適な空間づくり及び長寿命化  
(内装改修、手すりの設置、ユニットバス化、キッチン等の更新など)

県営住宅 水回り改善工事

■ 住戸内の老朽化した水回りを改善することで長寿命化を図ります



キッチン



玄関



風呂



トイレ

住戸内の水回り改善による快適な空間づくり及び長寿命化  
(ユニットバス化、トイレ・キッチンの更新、配管改修など)

水回り改善と同時に  
外壁及び屋上防水の改修による長寿命化



■ 令和9年度の姿

県営住宅の建替えや改善工事を実施し、老朽化した住宅ストックを効果的かつ長期にわたり活用し、長寿命化が図られています。

■ 最終的な姿

長寿命化が図られることにより、快適で安全安心な公営住宅が長きにわたり提供されています。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標23:長寿命化対策済の林道、治山施設数	304箇所	304箇所	364箇所

■主な整備効果 (令和4年度末)

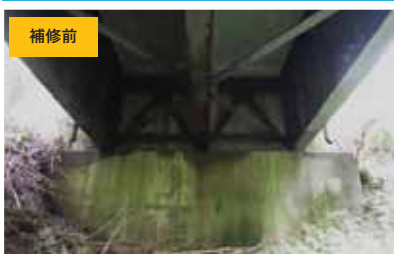
□林道施設の長寿命化の推進

■林道施設の機能を維持し、地域住民の生活や安全を確保するため、林道施設長寿命化計画に基づいた点検・補修・改修等を推進します。

○林道施設の点検



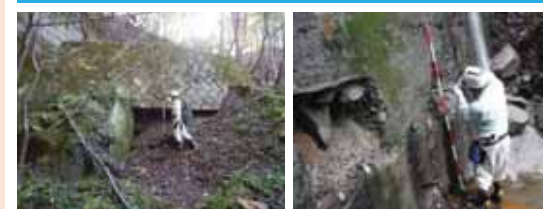
○対策済の林道施設数 (R2~R4) : 153箇所→178箇所(25箇所)



□治山施設の長寿命化の推進

■治山施設の効果を維持し、地域住民の生活や安全を確保するため、治山施設保全計画に基づいた点検・補修・改修等を推進します。

○治山施設の点検



○対策済の治山施設数 (R2~R4) : 104箇所→126箇所(22箇所)



■令和9年度の姿

長寿命化計画に基づき、生活道としての利用など一般車両が通行する林道施設及び集落に近い治山施設について、優先的に点検と補修・改修等を実施し、施設の長寿命化が推進されています。

■最終的な姿

長寿命化計画に基づく施設の点検と補修・改修等が計画的に実施され、林道・治山施設が長期的に機能を発揮する仕組みが確立されています。



■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標24:基幹的農業水利施設の整備箇所数	32箇所	32箇所	—

■主な整備効果 (令和4年度末)

計画的な整備により、令和2~4年度に14箇所の基幹的農業水利施設の長寿命化対策が完了し、施設の機能が安定的に発揮されている。

対策内容

- ・老朽化した開水路・管水路の補強や更新
- ・水路トンネルの補強
- ・制御システムと通信機器の更新

対策効果

- ・安定したかんがい用水の供給により農作物の品質向上に寄与
- ・豪雨時の適切な排水
- ・火災時における地域の防火用水の確保

整備から年数が経過した施設では老朽化により機能が低下

水路トンネル



継ぎ目が開き土が漏れ出した状況

開水路



ひび割れ発生状況

鋼製水路橋



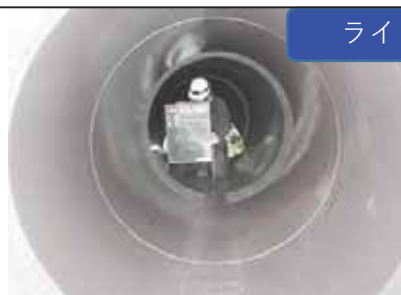
錆による鋼材の腐食状況

畑地かんがい管路



老朽化した管路の破裂

ライフサイクルコストの低減を図りつつ長寿命化対策を実施することで、健全な機能を発揮



内面被覆による水路トンネルの補強



表面被覆により漏水を防止



再塗装により錆を防止



内面被覆による補強を行い安定的な用水供給を確保

■令和9年度の姿

令和元年時点の点検・診断に基づいた長寿命化対策は完了し一定の効果が発現している。また、随時行う点検・診断により対策が必要と判断した施設については、適時適切な長寿命化対策を講じられています。

■最終的な姿

施設の点検・診断の結果に基づいた適時適切な長寿命化対策を継続的に行うことで用水が安定的に供給され、持続的な農業経営が行われています。

■主な整備効果（令和4年度末）

コンパクトなまちづくりに向けた拠点の設定

山梨県都市計画マスタープランにおいて、県が広域的な視点から都市機能を集積する20の拠点と地区拠点候補地を設定



<地区拠点候補地一覧>

広域圏域	市町村	地区名
中西部・南部 広域圏域 (41地区)	甲府市	南甲府駅周辺、甲斐往吉駅周辺、酒折駅及び普光寺駅周辺、山梨大学周辺、湯村温泉郷周辺、県立美術館周辺、南西中学校周辺、国母駅周辺
	山梨市	山梨駅周辺、山梨厚生病院周辺
	韮崎市	藤井地区
	南アルプス市	八田支所周辺、白根支所周辺、甲西支所周辺、若草支所周辺、洩奈・東南湖商業施設周辺
	甲斐市	塩崎駅周辺
	笛吹市	一宮支所周辺、御坂支所周辺、八代支所周辺、境川農産物直売所周辺、春日居支所周辺
	甲州市	塩山市民病院周辺、藤沼支所周辺、甲斐大和駅周辺
	中央市	玉穂支所周辺、東花積駅周辺
	市川三郷町	上野地区、岩間地区
	身延町	下山地区、身延駅前、蔵富地区
富士川町 北杜市	糠沢地区	糠沢地区
	甲府市	胡野地区(上手)、須玉地区(若神子、穂足)、高根地区(村山北・西割)、高根地区(曙駅前)、大塚地区(谷戸)、小淵沢地区、白州町(白須)、武川(牧原)
	都留市	東桂駅周辺、赤坂駅周辺、末生駅周辺、田野倉駅周辺
	大月市	濃樺駅周辺、滝沢駅周辺
	上野原市	瀬地区、島田地区
	西桂町	西桂町役場周辺
	忍野村	忍野村役場周辺
	山中湖町	山中地区、平野地区
富士河口湖町 鳴沢村	小立地区、勝山地区、河口地区、大石地区、長浜地区	鳴沢村役場周辺

都市機能の集積

拠点内で行政・文化等、都市機能の集積が進められている



居住の集積

近年、甲府中心市街地でマンションの立地が相次ぐ



・甲府中心市街地の人口が増加 (H29: 5,269人⇒R2: 5,471人)

立地適正化計画の策定

- 6市が立地適正化計画について具体的な取り組みを行っている。
- このうち4市が計画を作成・公表。  
※対象：都市計画区域を有する20市町村



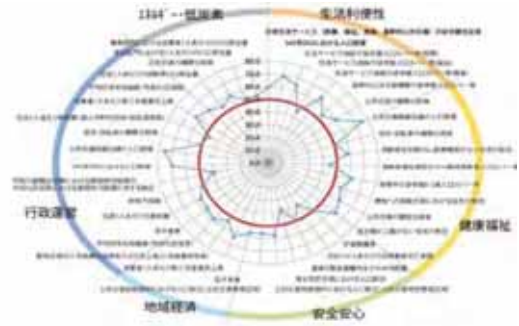
市町村の立地適正化計画策定に向けた支援

■講習会等の開催  
制度の説明や国や作成済み自治体による講演や、先進地視察などを定期的に開催



■技術的支援  
市町村が重点的に取り組んでいくべき分野の選定、居住誘導区域などの設定にあたっての検討材料として、県が都市構造を分析し提供

図 甲府市の指標別偏差値(母数:県内市町村)



■令和9年度の姿  
コンパクトなまちづくりに向けた取り組みが進んでいます。

■最終的な姿  
コンパクトなまちづくりが進み、住民が医療や福祉、商業などの生活サービスが持続的に享受できる環境となっています。



■ 指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標25:危険度の高い空き家の解消件数	108件	119件	200件

■ 主な整備効果 (令和4年度末)

空き家の除却

■ 空き家の除却を促すため、市町村への技術的・財政的支援を実施

敷地をポケットパークに整備

特定空家等の代執行

空き家の利活用

■ 空き家の利活用を促すための補助事業を実施

■ 既存住宅状況調査への補助事業を実施 (中古住宅の流通促進)

県による直接補助 (地域活性化施設として活用)

市町村への補助 (地域交流施設として活用)

【土台・床板・基礎】調査の様子

【基礎配筋】の調査の様子

【外部(ひしこニー)】調査の様子

中古住宅の売買時等に、売主又は買主が行う既存住宅状況調査に要する費用の一部を補助

■ 令和9年度の姿

危険度の高い空き家200件が除却等により解消され、周辺住民の生活環境への悪影響が解消されています。

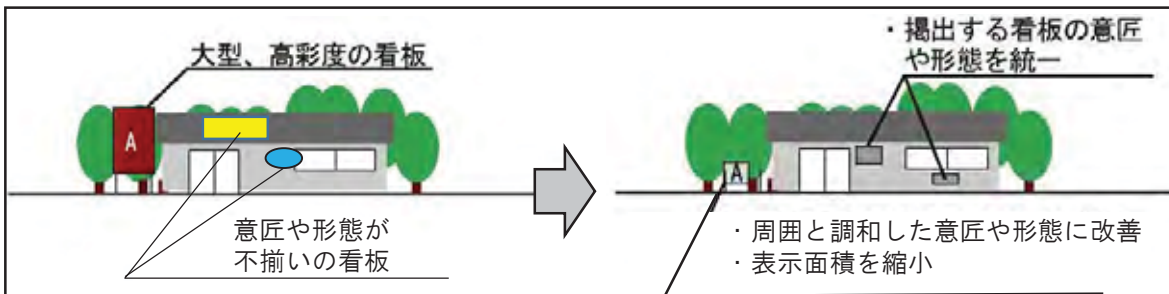
■ 最終的な姿

危険度の高い空き家については除却、使用可能なものについては利活用が促進されることで、周辺住民の生活環境への悪影響が解消されています。

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
	指標26:屋外広告物の適正化率		85%	85%

■主な整備効果 (令和4年度末)

■良好な屋外広告物への改善



景観保全型広告規制地区



富士山北麓では平成24年度(2012年度)より景観保全型広告規制地区を定め、新たに設置する屋外広告物の高さ・面積・色彩等の基準を厳しくする取り組みを行っている。

■市町村や住民団体向け景観セミナーの開催



■市町村と住民が協働で実施した景観づくり活動例



ガードレールを  
景観色に改善



■令和9年度の姿

屋外広告物の約90%が適正な状態となっています。

■最終的な姿

屋外広告物の適正化が進み、良好な景観づくりの推進されています。



施策33

i-Constructionの推進

■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
		指標27:平準化率	0.75	0.82

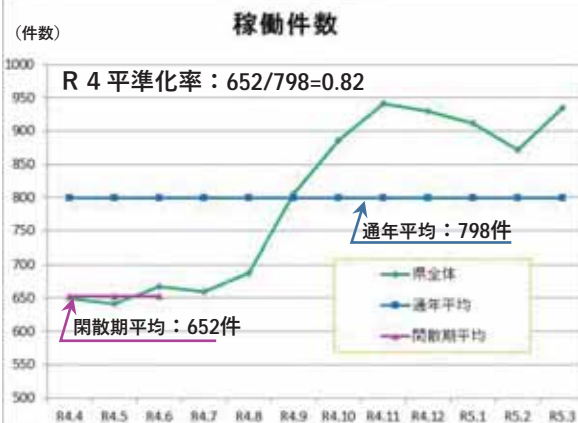
■主な整備効果 (令和4年度末)

平準化率：  

$$\frac{\text{閑散期の4～6月期平均稼働件数}}{\text{年度の平均稼働件数}} \times 100(\%)$$

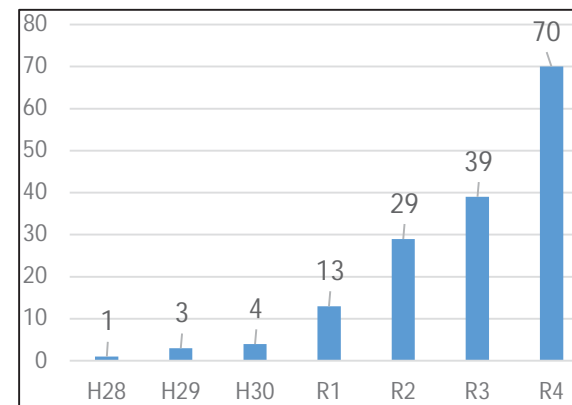
施工時期の平準化が図れると、  
 ⇒年間を通した切れ目のない  
 公共工事の発注  
 ↓  
 技術者や資機材の効率的な活用による建設業者の経営の健全化や就労環境の改善  
 ↓  
 公共工事の品質確保に繋がる。

⇒このため、全庁的に取り組んでいます。



【ICT施工の推移】

R 5.5月末時点



【講習会の実施】

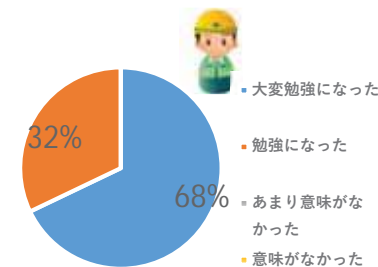
【講習会のアンケート結果：回答81名】

【講習会状況】

3次元施工データ作成

フィールド体験 (マシンガイダンス)

機器操作体験 (点群データ取得)



企業の技術者や経営者に向けてICT講習会等を実施

■令和9年度の姿  
 債務負担行為の積極的な活用や余裕期間制度などの平準化の取り組みが浸透し、平準化率が0.8となっています。

■最終的な姿  
 平準化は円滑な施工確保に資することに加え、工事に従事する者の処遇改善や建設業者の経営の健全化等に寄与し、公共工事の品質確保につながっています。

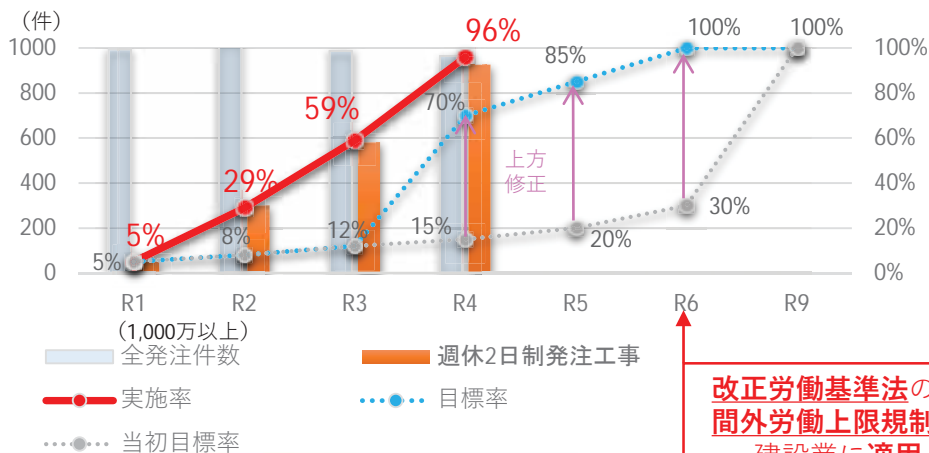
施策34

建設産業を担う人材の確保・推進

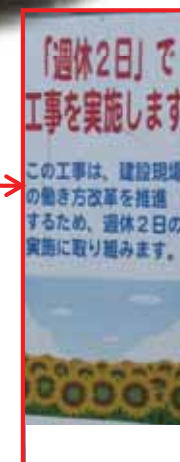
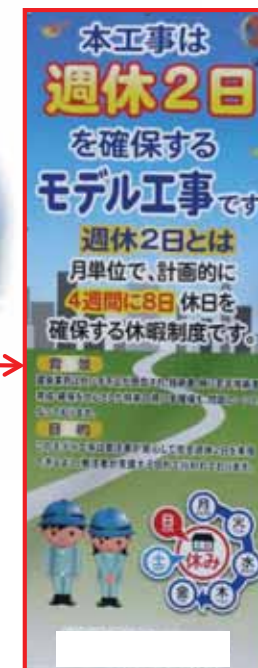
■指標の目標と実績	指標	令和4年度末の姿(目標値)	令和4年度末の実績値	令和9年度の姿
		指標28:週休2日制モデル工事実施率	70%	96%

■主な整備効果 (令和4年度末)

週休2日工事発注状況



週休2日制対象工事の現場状況



■令和9年度の姿

災害など緊急を要する工事や地域特性など、週休2日制に適さない工事を除き、100%の実施率となっています。

■最終的な姿

建設現場における週休2日制が定着することで、長時間労働の改善と休日の確保が日常化し、若年入職者の増加、労働者の賃金確保が図られています。41



■主な整備効果（令和4年度末）

公共事業評価の実施

R2年度からR4年度までに498件の事業について、公共事業評価を実施している。



公共事業評価委員会の開催状況



委員による現地視察の状況



知事への意見書提出



景観に配慮した公共事業の実施

景観に配慮した公共事業を実施するため、有識者によるアドバイザー会議を開催

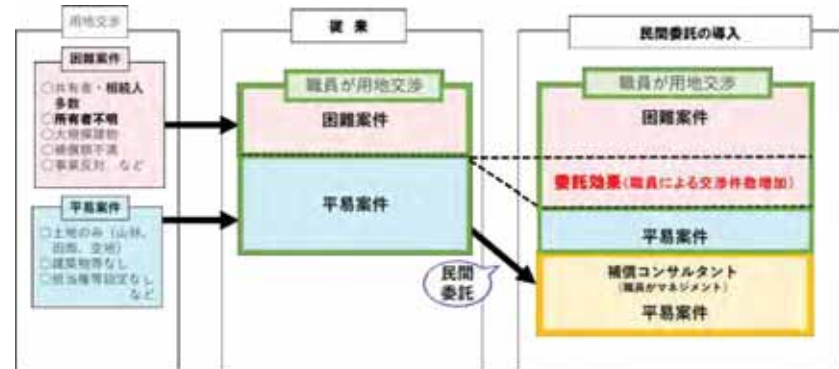
R2年度からR4年度までに21件のアドバイザー会議を実施

アドバイザー会議の事例（入山川浅間橋）



用地ストック確保のための体制強化

民間委託を活用することにより、業務の効率化が図られ用地ストックが増加  
R2年度からR4年度までに29件の用地交渉補助業務を発注



■令和9年度の姿

県民にとって真に必要性が高く、より大きな効果が早期に得られるよう、効果的な公共事業が実施されています。

■最終的な姿

県民にとって真に必要性が高く、より大きな効果が早期に得られるよう、効果的な公共事業が実施されています。